

液晶部材向けフィルム開発

木を見て森を見ずという言葉があるが、私は細部のみならず全体にも目を向けて視野を広くするように心がけている。ナノレベルの研究をしていた大学院時代、教授に「小さいことにとらわれすぎるな。熱中するのは大事だが、立ち止まって周囲を見渡し、研究の意義や立ち位置を確認すること」と教わったためである。

凛としていきる

理系女性の挑戦

細部のみならず、視野広く



の啓蒙開発を行っている。つまり最終製品の素材メーカーであるため、開発品がどの最終製品に入る予定なのか情報が少ない。

しかしこれを知らなければどのような物を開発すべきなのか、別関係なく積極的に対話をしていく。

その時に大切にしていくのが「相手を知る・理解することだ。一つの情報にして見方を変えればさまさまに解釈できるため、複数の考え方が存在することを知らなければならない。その「対話」のおかげで今、私のテーマが形となりつつある。

収集した知見や考えたこと・実行したことが目に見える「モノ」となり、それがお客さまの役に立っていることを考えると、基礎研究では味わえなかった醍醐味を感じる。

また、「田川さんが来てからグループが明るくなった」と上司に言われたことがある。私自身の元気が起因していると思うが、各研究員の出張が多く懇親会もなかなか開けない職場でこのように言われたのは、私が各研究員・室員と話す機会が多いからではないか。女性研究員が増えていることもあるが、男性自らが気づいて声かけしてくるため、楽しく仕事ができる。仕事をしたい女性だからといって不便に感じたことはない。手を上げればやりたいことをやらせてもらえる雰囲気があり、女性が応援されている今だからこそ、積極的に社外セミナーや交流会にも参加している。これらの経験がさらに私をハ

む先輩や上司のアドバイスを受けながら仕事に励む

その時に大切にしていくのが「相手を知る・理解することだ。一つの情報にして見方を変えればさまさまに解釈できるため、複数の考え方が存在することを知らなければならない。その「対話」のおかげで今、私のテーマが形となりつつある。

また、「田川さんが来てからグループが明るくなった」と上司に言われたことがある。私自身の元気が起因していると思うが、各研究員の出張が多く懇親会もなかなか開けない職場でこのように言われたのは、私が各研究員・室員と話す機会が多いからではないか。女性研究員が増えていることもあるが、男性自らが気づいて声かけしてくるため、楽しく仕事ができる。仕事をしたい女性だからといって不便に感じたことはない。手を上げればやりたいことをやらせてもらえる雰囲気があり、女性が応援されている今だからこそ、積極的に社外セミナーや交流会にも参加している。これらの経験がさらに私をハ

△プロフィール▽  
13年3月長崎大学大学院工学研究科総合工学専攻修士了。同年東洋紡入社。現在、工業フィルムの開発に従事。日本女性技術者フォーラム個人会員。



田川 理恵

東洋紡総合研究所  
堅田フィルム技術センター

△  
企業協力・日本女性技術者フォーラム（JWF）  
ワーアップさせてくれることを期待して「木を見て森も見る」技術者になりたい。